

七段合格と新年の抱負

栃尾剣道連盟 蕪澤健太(48)

新年あけましておめでとうございます。

昨年11月名古屋にて、おかげさまで合格をいただくことができました。これまでご指導くださった先生方や仲間に深く感謝を申し上げます。

今回は、三度目の挑戦でようやく合格することができました。三度目の正直というわけではありませんが、過去二回の審査を振り返り、改善や強化すべきポイントが何か、自己分析するとともに、先生方や仲間から助言をいただきました。それらを普段の稽古で自然にできるよう体に覚え込ませることを念頭に置きました。

また、風格を養い、相手を引き出して、打つべき機会で確実に一本にすることを意識して審査までの間の稽古に励みました。過去二回の審査では、試合感覚になり、どうしても先に当てようという意識が表れ、打つべき機会でないところで出て、無駄な打ちをするなど自滅するケースが見られました。

今回は、それを教訓に稽古ではまずは合気になることを意識し、審査時間の一分半の立ち合い稽古を繰り返して行いました。また、私は体が小柄なことから、相打ちなどで打ち負けないためにも稽古以外にフィジカルトレーニングや体重も数キロ増やすなどして、本番に臨みました。

私事の余談ですが、昨年まで仕事の関係で約5年間ベトナム（ホーチミン）に駐在しており、現地には剣道文化はあるものの、日本のようなレベルではない上、満足のいく稽古はできず、多少のブランクがありました。

また、今年に入り、コロナ禍でまともに稽古ができない焦りと審査が本当に行われるのか、といった不安がありました。しかし、審査前に県剣連主催の六段・七段受審者を対象にした講習会に参加し、本番形式で行われた模擬審査で、県下名だたる先生方に点数付けをしていただいたことで、自分のレベル感を客観的に捉えることが出来ました。とても良い機会でした。

最後に今年の抱負といたしまして、剣道の専門ではない一剣道愛好者でしかありませんが、七段審査をもう一度受けても合格できる意識と状態を維持しつつ剣道の楽しさを感じながら稽古に励み精進していく所存です。